

茨城県立東海高校 (学校長 宇野 穰)

実施日	平成19年12月12日(水)	時間	午後1時30分～午後3時20分
実施場所	教室、調理室	対象/人数	3年生13名
担当教諭	高橋 祐子	ファシリテーター	-
講師	馬 晋(中国・留学生)		

活動内容

- ・パソコンを使用しての、中国の歴史や文化、中国茶器の説明
- ・3つのグループに分かれて、調理実習(麻婆豆腐)

生徒の感想

- ・最初、中国の人と聞いて何を話したらいいかわからなかったが、講師の方の年齢が自分たちと近かったので、話かけやすい雰囲気になった。
- ・麻婆豆腐作りが、とても楽しくできた。馬さんの持っている携帯のことで話をしたりした。

先生の感想

・東海高校では、総合の時間に各テーマに分かれて学習しており、今回ワールドキャラバンを利用したのは「英会話」のテーマのもとで学んでいる集団である。初めての試みだったが、国を指定しなかったところ中国の方となり、正直生徒からは「なぜ英会話なのに中国？」という声も出た。しかし、語学の基本となる他者理解・異なるものを受け入れる素地づくりという観点から、国というのは関係ないと考えている。

馬さんは、茨城大学の留学生ということで、生徒と年齢も近く親しみやすかったため、よいコミュニケーションを図れた。また、パワーポイントで視覚に訴え、調理で五感を使い、飽きさせないものだった。

成果と課題

・馬さんが日本語が上手だったこと、年齢が生徒と近く親しみやすかったことで、初対面でも生徒とコミュニケーションがはかれていたこと。生徒が意外に中国について、質問していたので日本人にとって背景的知識が高い国だと感じたし、そのおかげで少人数ながら質問なども弾んだものとなった。

・内容が講師と担当者に全て委ねられているので、その講師のもっている力量に左右されるところが大きい。生徒の特性を考慮すると、講話より体験を重視したいと考えていたが、担当の講師の

方は何ができるのかというのを、電話連絡を通して詳細まで詰めていくことが大変である。また、短い交流なので同じ人が複数回訪れる形をとると、また違った成果が表れたのではないかと考えられる。

